

議決権行使結果

2019年2月27日

議決権行使結果について

レオス・キャピタルワークス株式会社（代表取締役社長 藤野英人）は、わたしたちが宣言・公表しているスチュワードシップ・コード5に基づき、2018年1月から6月における反対議案を以下のとおり開示します。

銘柄コード	社名	議案
7874	レック	4号
7554	幸楽苑 HD	2号
8306	三菱UFJ フィナンシャル G	3号 4号 6号 7号 8号 9号

ー以下、参考資料ー

コード5

機関投資家は、議決権の行使と行使結果の公表について明確な方針を持つとともに、議決権行使の方針については、単に形式的な判断基準にとどまるのではなく、投資先企業の持続的成長に資するものとなるように工夫すべきである

わたしたちは、当社規程に基づき議決権行使します。また、以下の理由から議決権行使結果の個別開示は反対議案のみ、6か月以上経過した毎年末に一括して開示します。

- ① 経営陣を信じて託すことがわたしたちの投資の基本姿勢であることから、わたしたちの議案賛成率はほぼ100%となっており、議決権の行使結果を個別企業ごとに開示するのは必要性に乏しいと考えます。
- ② 議決権行使は投資先企業との大切な対話手段のひとつと捉えています。それ以前に日々の対話を通じたエンゲージメント活動をより重視しています。経営陣の方針に賛同できない場合は株式の売却等意思表示します。
- ③ 議決権の行使結果の個別開示については、わたしたちの主力運用商品である「ひふみ投信」「ひふみプラス」「ひふみ年金」の保有状況を推定させてしまうことで受益者利益を損ねる恐れがあると考えられるため、上記のとおり開示とします。